

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

応用生命コース

応用生命コースでは、生物資源の医薬からエネルギーに至るバイオテクノロジーの開発応用に関する高い研究能力や専門知識を身につけ、新たな産業創出に貢献する技術者、起業家を育成することを目指し、以下のようなカリキュラムを編成している。

1. 1, 2年次を中心に、教養教育科目や学科共通科目を配置して、生物資源に関する幅広い視野と豊かな人間性、バイオテクノロジーについての高い倫理観を修得させる。また、持続可能な社会作りの担い手たる資質としての進取の気風を身につけさせる。
2. 2年次以降にはコース専門科目、実習、演習を配置し、生物資源やバイオテクノロジーに関する幅広い知識を修得させることにより、生物資源を利用したバイオ医薬品、エネルギー、有用資源の開発応用、産業化に関する専門知識と技能を身につけさせる。さらに4年次には卒業研究を通じて、論理的思考能力や情報発信能力を修得させる。
3. 人間と自然が共存する豊かな社会の中で、生物資源を活用した新たな産業の創出に貢献できる人材を育成するため、ヘルスサイエンスに加えて、フードサイエンス、アグリサイエンスに関する専門科目および、経済・経営関連科目などを通じて専門基礎と産業の創出に必要なビジネスマインドを修得させる。

食料科学コース

食料科学コースでは、安心安全な食品供給を可能にするための生物資源の加工、食品中の機能成分の役割、有害物質の作用等に関する高い研究能力や専門知識を身につけ、食品分野で新たな産業創出に貢献する技術者、起業家を育成することを目指し、以下のようなカリキュラムを編成している。

1. 1, 2年次を中心に、教養教育科目や学科共通科目を配置して、生物資源に関する幅広い視野と豊かな人間性、バイオテクノロジーについての高い倫理観を修得させる。
2. 2年次以降にはコース専門科目、実習・演習を配置し、フードサイエンス分野の基礎知識や実験技術を習得させる。卒業研究を通じて、論理的思考能力や情報発信能力を養う。
3. フードサイエンス分野だけでなく、ヘルスサイエンス、アグリサイエンスに関する専門科目や経済・経営関連科目の履修を通じて、生物資源を活用した新たな産業の創出に必要なビジネスマインドを身に付けさせる。

生物生産システムコース

生物生産システムコースでは、豊かな自然環境を保全しながら、一次製品の質の向上や生産量を増加させる革新的なアグリサイエンスに関する高い研究能力や専門知識を身につけ、一次産業の発展、産業創出に貢献する技術者、起業家、地域リーダーを育成することを目指

し、以下のようなカリキュラムを編成している。

1. 1, 2年次を中心に、教養教育科目や学科共通科目を配置して、生物資源に関する幅広い視野と豊かな人間性、バイオテクノロジーについての高い倫理観、イノベーションや商品を生み出す進取の気風を身につけさせる。
2. 2年次以降にはコース専門科目、実習・演習を配置し、一次産業の技術革新、新たな生物資源の利用、産業化に関する専門知識と技能とビジネスマインドを修得させる。さらに4年次には卒業研究を通じて、論理的思考能力や情報発信能力を身につけさせる。
3. アグリサイエンス分野に加えて、ヘルスサイエンス分野やフードサイエンス分野に関する専門科目を通じて、産業の創出に必要な専門知識と技能を修得させる。